

看護の日のイベント よりみちナースステーションを開催しました

5月12日は、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで国際看護師協会により定められた「国際看護師の日」です。

看護部リソースナース委員会では毎年この時期にイベントを開催しています。リソースナースとは、専門分野を有する看護師のことをいいます。今年は、5月12日(土)に、専門分野の看護師の役割や活動を知っていただくことを目的とした、看護の日のイベント「よりみちナースステーション」を開催しました。各ブースでは、それぞれの分野の特徴を活かした情報提供や相談などを行いました。

外来玄関前にテントを設置してのイベントでしたが、天候にも恵まれ、延べ295名の方に参加していただきました。



<体験コーナー>

- 乳がん自己検診方法の紹介や、模型を触って自己検診の体験
- 高栄養流動食の試飲、トロミ剤の試飲
- ロコモティブシンドローム予防のための体操
- きちんと手洗いができているかを蛍光塗料を使用して確認
- 介護を必要とする方の皮膚ケア方法の紹介

<測定コーナー>

- 血糖値測定、糖尿病危険度チェック
- 血圧の測定、体重・体脂肪・BMIの測定

<情報コーナー>

- 緩和ケア、化学療法(副作用対策、治療中の食事)、がん療養に関する情報展示



参加していただいた方からは、「糖尿病の気があると言われたから気になっていて、でもどうしたらよいか分らなかったのできました」「体脂肪は家では測れないから」「いろんな情報がありそうだから」との理由が多く聴かれました。糖尿病危険度チェックは大好評で、行列ができるほどの賑わいでした。今回は参加者カードを作成し来場者の方々に配布したところ、皆さま喜んでシールを集めながら各ブースの見学や体験をしてくださいました。



看護部リソースナース委員会